

## 盛農生の盛岡地区安全伐倒競技会出場に向けた取組について

### 1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、林業従事者の作業技術の向上、安全作業に対する意識醸成及び新規就労者確保を目的に安全伐倒競技会を開催しています。今年度から盛岡農業高等学校の生徒を対象とした、「高校生の部」を新設し開催したので、その取組について紹介します。



練習会の様子

### 2 練習会1日目

競技会に参加する2年生8名を対象に練習会を計3日間行いました。初日は林業技術センターで林業アカデミーの指導している職員から、チェーンソー操作における基本動作、競技会ルールとペナルティについての説明があり、特にブレーキについては、作業時以外は常に作動させることなど、安全に作業することが重要である旨強く指導がありました。

### 3 練習会2日目

2日目は、チェーンソー操作に慣れてもらうことを重点におき、ペナルティを厳しくチェックしながら競技練習を行いました。

チェーンソーの性能を十分に発揮するため、エンジン音に合わせた力加減が必要なこと、まっすぐ伐るためのポイントなど、個々の操作技能に合わせて指導しました。

### 4 練習会3日目

3日目には、本番同様の計測を行い、結果を確認しながら修正点等の指導を行いました。初日と比較すると格段に上達しており、ペナルティもほとんどなく、全員、安全操作を意識していることが確認できました。

### 5 競技会本番

12月5日の競技会本番では、練習の成果を十分に発揮して、誰一人ペナルティを出すことなく、精度の高い操作を行い、本番を終えることができました。

### 6 終わりに

練習初日には、チェーンソーの始動操作ですらヒヤヒヤするような状況でしたが、アドバイスを受け修正を重ねるなかで安全に操作できるようになるなど、非常に教え甲斐のある生徒さん達でした。

アンケートの回答には、全員から「満足」とあったほか「今回の経験を進路に活かしたい」などの回答もあり、新規就労者確保として期待できる取組となりました。

今後も取組を継続して林業従事者の新規就労者確保に向け取り組んでいきます。



高校生による丸太伐り